# 18年度当初予算　～骨格予算～

# 予算総額769億円

学校生活の始まりに胸躍らせる新１年生（桜台小学校「１年生を迎える会」）

新市発足後初の定例会となる3月議会が、3月3日に招集され、24日までの22日間の会期で開かれました。この定例会では、平成18年度当初予算、条例の制定、計画の策定などの議案審議を行い、いずれも原案のとおり承認・可決しました。また、助役・収入役・監査委員・固定資産評価審査委員会委員の選任同意、教育委員会委員の任命同意、一部事務組合議会議員・選挙管理委員会委員の選挙のほか議員発議により3つの特別委員会を設置しました。なお、一般質問では、25人の議員が登壇し、市政をただしました。

## 新規事業・政策的経費は6月議会で

合併後の実質的な新市予算となる平成18年度の一般会計予算、11の特別会計予算、上水道事業会計予算を原案のとおり可決しました。

一般会計と11の特別会計の当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ768億9，845万円で、うち一般会計の当初予算額は、歳入歳出それぞれ414億1，394万5千円と決まりました。

本予算は、義務的経費や経常的経費を中心とした骨格予算として編成されたもので、新規施策や政策的な経費の予算については、6月定例会において提案される見込みです。

当初予算審査のために設置された予算特別委員会での主な質疑の内容は、5ページから6ページに掲載しています。

### 反対討論

【櫻井肇議員】

一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算の3予算に反対。本一般会計予算は、旧1市3町の予算を踏襲したため、事業規模が小さい旧町では合併のメリットを享受できない。国保会計予算における不均一課税は、市民の一体感を損なう。



## 障害者自立支援条例を可決

本年4月1日に障害者自立支援法が施行されることに伴い、法令に定めがあるもののほか必要な事項を定める障害者自立支援条例を、原案のとおり可決しました。

本条例は、障害者等の障害程度区分及び支給要否決定に関する審査判定業務を行うために設定する「花巻市障害程度区分審査会」の委員の定数を定めるほか、罰則規定について定める内容となっています。

### 反対討論

【照井明子議員】

過料という罰金条項は、プライバシー権、生存権を脅かすものである。

【佐藤かづ代議員】

障害者の立場をきつくする法律に基づいた条例には賛成できない。

### 賛成討論

【高橋毅議員】

法に基づくものであり、厳しい財政状況下での負担増はやむを得ない。

## 所得区分6段階、納期7期

### ～介護保険条例の一部改正～

介護保険条例の一部を改正する条例を、原案のとおり可決しました。

本条例の一部改正により、平成18年度から平成20年度までの保険料が定められ、所得段階による区分は6段階に改められました。

また、普通徴収の保険料の納期は、国民健康保険税と同じ7期に改められました。

### 反対討論

【照井明子議員】

低所得者層及び社会的弱者へのこれ以上の負担増は認められない。

## 一般職の職員の給与条例を一部改正

### 平均4.8％引き下げ

### ～勤務実績を給与に反映～

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を、原案のとおり可決しました。

本条例の一部改正は、国及び県の例に準じて行うもので、地域ごとの民間賃金を反映させるため、給料表の水準を全体として平均4・8％引き下げること、勤務実績が給与に反映されるよう昇給の制度を見直すこと等が主な内容となっています。

### 反対討論

【藤井英子議員】

中央優位、地方劣位の格差拡大となり、地域経済にも影響が出る。

【藤原敬一（うむ野）議員】

合併の大事な時期の給与の引き下げは、職員の士気にも関わる。

## 老人保健施設「華（はなやぎ）の苑」リハビリ施設完成

老人保健施設華の苑通所リハビリテーション施設の完成に伴い、同苑の通所リハビリテーション利用者の定員を、20人から40人に改めるものです。

4月に供用開始した華の苑通所リハビリ施設

## 花巻市総合計画審議会を設置

花巻市総合計画審議会条例を、原案のとおり可決しました。

この審議会は、市の総合的な計画の策定や推進に関する重要事項を調査審議するため、市長の諮問機関として設置するもので、委員20人以内で組織されます。